



保育所経営セミナー

— 子ども・子育てに関する政策動向と地域資源としての保育所の経営について —

主催：独立行政法人福祉医療機構

【日 程】平成 26 年 1 月 31 日（金）

【東京会場】全社協・灘尾ホール（東京都千代田区霞が関）

平成 24 年 8 月に子ども・子育て支援法を含む子ども・子育て関連 3 法が成立し、現在は幼保連携型認定こども園保育要領（仮称）の策定に向けた検討が始まり、今後は公定価格の検討、保育の必要性についての認定基準の検討など、子ども・子育て新システムの実施に向けた様々な準備が進められていくこととなっています。

このような政策動向と並行して都市部では待機児童対策として保育所の整備が急ピッチで進められている一方で、地方の一部では保育児童の確保が課題となるなど、保育所を取り巻く経営環境は多様で複雑な様相を呈しています。さらに、民間保育所の経営主体の大多数を占める社会福祉法人については、法人制度の在り方の検討が始まり、保育所を含む法律で定められた社会福祉事業だけにとどまらない地域福祉の担い手としてのインフォーマルな福祉に対する取り組みを求める指摘がなされています。

このような状況を踏まえ、今回のセミナーでは、保育や法人制度などの政策動向を捉えることや、保護者や地域との繋がり・コミュニケーションも含めた地域資源としての保育所経営の実践事例を見ていくことを通じて、これからの保育所経営について皆様とともに考えたいと思います。

09:30~10:00	受付 (30 分)
10:00~10:10 (10 分)	オリエンテーション 開会のあいさつ 独立行政法人福祉医療機構
10:10~11:20 (70 分)	『「まちの保育」を目指した地域と一体となった保育の取組み』 〈講師〉 ナチュラルスマイルジャパン株式会社 代表取締役 松本 理寿輝 氏
11:20~11:30	「福祉貸付事業の概要について」 〈説明者〉 独立行政法人福祉医療機構 福祉貸付部 福祉審査課
11:30~12:30	休憩 (60 分) ※ 融資相談コーナー
12:30~13:40 (70 分)	『「子ども達のより良い育ちを目指した社会資源という発想の保育所運営」子どもの権利条約を基準に考えた保護者支援、地域支援、職場の環境づくり—保護者・地域との連携が保育の基本—』 〈講師〉 諏訪保育園 園長 島本 一男 氏
13:40~13:50	休憩 (10 分)
13:50~15:10 (80 分)	「子ども・子育て支援新制度の概要と課題—福祉の視点を中心に—」 〈講師〉 淑徳大学 総合福祉学部 教授 柏女 霊峰 氏
15:10~15:20	休憩 (10 分)
15:20~16:30 (70 分)	「新たなステージに入った内部留保論と これからの社会福祉法人のガバナンス」 〈説明者〉 独立行政法人福祉医療機構 経営支援室 経営企画課長 千葉 正展

※ 講師、講義時間及び講義内容等に変更が生じる場合がございますので、あらかじめご了承ください。